



Rotary
Club of Inuyama



■会長：稲垣 圭次
■幹事：小川 誠
■公共関係向上副委員長：大原 隆一

事務所／〒484-0061 犬山市大字前原字橋爪山 1-4 犬山カンツリー倶楽部内
電話／0568-61-5219 F A X／0568-61-5523
U R L／<http://www.inuyama-rc.org/> e-mail／info@inuyama-rc.org
例会会場／〒484-0061 犬山市大字前原字橋爪山 1-4 犬山カンツリー倶楽部
電話／0568-61.2281 毎週火曜日／12：30～13：30

第2951回 例会 (R6. 4. 16 火 雨/曇り ☔)

点 鐘 稲垣 圭次会長

R . S それでこそロータリー 四つのテスト

幹事報告 小川 誠幹事

下記クラブは法定休日又は定款による休会
又はクラブ都合により (メーキャップ受付なし) です

クラブ名	例会日 (曜)	クラブ名	例会日 (曜)
犬 山	4月23日(火)	愛知長久手	4月30日(火)
岩 倉	4月23日(火)	瀬 戸	5月1日(水)
瀬 戸	4月24日(水)	小 牧	5月1日(水)
春日井	4月26日(金)	江 南	5月2日(木)
犬 山	4月30日(火)	春日井	5月3日(金)
岩 倉	4月30日(火)	尾 張 旭	5月3日(金)

下記クラブは例会変更です

クラブ名	例会日 (曜)	場所 (変更理由)
名古屋栄	4月22日(月)	(創立記念例会)
江 南	4月25日(木)	(曼陀羅時例会(夜間))
可 児	4月25日(木)	(例会変更)

☆2024年4月のロータリーレート 1ドル=151円

出席報告 (兒玉 寿委員長)

出席率 93.18%

名誉会員1名(原市長), 会員47名 出席41名 欠席6名
欠席者 野村憲治君 鈴木敏之君 谷定貴之君

前例会の修正(4/2分)

加藤浩一君(11/12 地区大会)澤田禪君(4/7 24-25 地区研修・協議会)

以上 87.50%を 92.50%に修正

前々例会の修正(3/31(3/26 例会変更)分)

松井隆幸君(4/7 24-25 地区研修・協議会) 丹羽敬昇君
(4/7 24-25 地区研修・協議会)大原隆一君(4/7 24-25 地区研修・協議会)

以上 77.14%を 85.71%に修正

ニコボックス (兒玉 寿委員長)

稲垣圭次君 原 欣伸市長 卓話宜しくお願い致します
(同文にて) 福富孝弘君 小川誠君 大島匡博君

高橋秀治君 第390回犬山祭が桜満開の中で盛大に催行されました。原市長,中村県議,日比野さん,小川征一さん,板津さん,加藤さん,近藤さん,眞野さん,安田さんには大変お世話になり有難うございました。お客様も大変喜んで帰られました。

又本日の市長の卓話を楽しみにしております。

山根雄司君 去る4月11日開催された第186回コンパで優勝しました。同伴いただきました梅田さん,安田さん,プレッシャーの言葉ありがとうございました。

近藤俊也君 皆出席10年を喜んで!

藤井友喜君 犬山市長 原欣伸様の卓話を拝聴できることを喜んで! 宜しくお願い致します。

(同文にて) 原正男君 日比野良太郎君 保浦博志君 井川光雄君 板津英基君 伊藤隆君 岩間信夫君 岩沢修之君 加藤浩一君 兒玉寿君 眞野健二君 松平實胤君 松井隆幸君 簗島弘賢君 中村大輔君 丹羽敬昇君 小川宏嗣君 小川征一君 大原隆一君 岡田雅隆君 奥村正幸君 澤田禪君 千田光範君 下平征司君 朱宮新治君 住野龍之介君 鈴木一成君 田中進一郎君 梅田佳和君 宇佐美芳樹君 安田一生君 安田新平君

祝 福 (宇佐美芳樹委員長)

おめでとうございます!!

会員誕生日	加藤 浩一君	4月10日
会員誕生日	伊藤 隆 君	4月16日
会員誕生日	兒玉 寿 君	4月20日
会員誕生日	宇佐美 芳樹君	4月20日
会員誕生日	野村 憲治君	4月27日
皆出席10年	近藤 俊也君	5月13日



☆☆ 誕生日おめでとうございます! ☆☆



☆☆ 皆出席おめでとう
ございます！☆☆

会長挨拶（稲垣 圭次会長）



皆さん、こんにちは。

4月6、7日に開催されました犬山祭は両日とも好天に恵まれ、祭りを待つような桜満開の中、大勢の観光客をお迎えしての開催はここにお見えになります。祭り関係者の皆さんと共に隣町に住む私も大変嬉しく思います。

初めにプロ野球のお話です。阪神タイガース 岡田監督のファンであります住野先輩、ファールボールで負傷した岩沢さんもお見えになりますが、地元 中日ドラゴンズは谷繁監督以来の現在首位を独走しております。開幕してまだ14試合が終わっただけですが、私明日バンテリンドームまで出向き、ドラゴンズの首位固めの応援に行ってみます。そして日本ハムファイターズには現在負け越し、パ・リーグ4位ではありますが頑張ってもらい、6月13日エスコンフィールドではパ・リーグ、セ・リーグの首位同士の交流戦を有志の皆さんと観戦応援をしたいものです。

さて本日、この後当クラブの名誉会員であります原市長の卓話を皆で拝聴させていただきます。ここで私からのお願いであります。犬山市行政未来像などのお話大変嬉しいのですが、鯖瀬町長の時もお願ひしましたご自身の生い立ち、趣味、日頃の楽しみ等も含めてお話ししていただければ隣町に住む私にとって更に嬉しく思います。

くしくも扶桑町は本日町長選挙、町議会議員選挙が告示されました。候補者にとっては勝敗、獲得、投票数による順位はプロ野球の順位と変わりはないと思います。

最後に4月23日（火）成田山で行います早朝例会は私の2度目の挑戦であります「アレ」であります。100%実質全員出席例会であります。皆さん、体調を崩さず、ケガをされることなく、お会いできますよう岡田監督同様、パイナップル飴を舐めながら成田山でお待ち申し上げます。

以上、本日の挨拶といたします。

ポリオプラス・ソサエティ



松平實胤さんは「ポリオプラスソサエティ」に入会され登録証とピンバッジが届いたのでお渡ししました

その他委員会報告

◎職業奉仕委員会（岩間信夫委員長）

次の例会、4月23日は成田山での早朝例会でございます。

ご祈祷をご希望の方は7時前にご本堂にお入りになってお受け下さい。護摩終了後、会館1階に移動していただきましていつもの箸ご飯で朝食を取っていただいた後、例会開会となる予定でございます。

内容としましては、成田山 法務課長の法話を予定しております。当日、どうぞ宜しくお願いいたします。

◎次年度幹事（丹羽 敬昇君）

24・25年度第3回理事会&第2回クラブアッセンブリーを5月21日 THE GARDEN で18時から始めさせていただきます。本日、関係者の方にはご案内を配布させていただきました。よろしくお願いいたします。

＝24・25年度第3回理事会&第2回クラブアッセンブリー＝

日時：5月21日（火）18：00～

場所：THE GARDEN（江南市）

*本日対象者にご案内配布

卓 話

出席・ニコボックス委員会（兒玉 寿委員長）

☆ 犬山市長 原 欣伸 様 （犬山 RC 名誉会員）



「これからの犬山の方向性」

皆さん、改めましてこんにちは。メンバーでありながらなかなかお邪魔できず申し訳ないと思いますが、気

持ちは常に皆さんとご一緒の思いでありますので、仲間としてお話をさせていただければと思っています。

はじめに会長からいきなり生い立ちからというお話を言われましたが、それはまた次回にゆっくり話をさせていただきます。今日は皆さんだからこそ犬山のことについてお話したいという思いが強いということ、また更にはその犬山づくりにご一緒いただき、ご指導いただきたい。そんな思いでお話をさせていただきます。生い立ちというのであれば、昭和43年ですから、ロータリーのメンバーの中でも43年組が1番多いのではないですかね。ここにも5、6人ぐらいいるはずです。ですから、こうした同年代の皆さんと一緒に楽しんでいきたいと思っていますので、これからどうぞ宜しくお願いいたします。

いただいたお時間は20分ぐらいということでありましたので、できるだけ思いが伝わるようにお話をしたいなと思います。

国道41号が2月20日に6車線化になりました。大きな可能性と大きなチャンスがあると思っています。ですから、41号の6車線化を生かしたまちづくりのあり方を1つお話したいと思います。

その中で、皆さんもご承知だとは思いますが、大きな判断をさせていただきました。それは何かと言うと、道の駅計画を白紙とさせていただいたことです。

そもそも道の駅がどういうものだったのかということからお話をさせていただきたいのですが、道の駅はそもそも農地のまま、調整区域のまま、道の駅を拠点にまちづくりを広げていこうという考えで進められました。道の駅を作ると犬山市は下水道を引くので、その下水道整備によってお店などの沿道開発が進みつつ、犬山中央病院の東側一帯がまちづくりとして広がっていくことを思い描いて計画をし、更にはまずは南側を皮切りにして、そこの整備が完了した後に今度は41号の北側の開発、まちづくりを考えていく。そうした新たな財源を確保する中で、最後は五郎丸の新駅を、基金を積み立てることによって作り上げていこうというものが道の駅計画でありました。

道の駅計画は当初は4億ぐらいでできるだろうという計算でありました。可児の方で道の駅を作り、下水道整備も1億5000万だった為、それぐらいの計算でありましたが、いろんな整備を考えるとなかなかそういうわけにはいかなくなりました。さらに申し上げると、その道の駅を作るにあたって、犬山市はお金使いませんという姿勢でありました。民間活力、民間資金を生かして犬山の財源を使うことなく民間力を大いに生かすのだという考えで進められました。そういった計画を作るにあたって、いよいよ詳細に検証していかなければなりません。民間と一緒に考えていきたいという思いがありますから、民間から色々聞き取りを重ねなければなりません。

5年ほど前に検証と調査をしました。その結果どうなったかと申し上げますと、道の駅構想を道の駅だけではなく複合施設の考えがあったので、子供たちの居場所を必須の項目として設けました。それによって道の駅計画の周辺整備も踏まえた予算がどれだけかかったかということ、34億円と示されました。そのうち先ほど申し上げました通り、民間力を生かす、民間のお金を

大いに活用するということでもありますので民間からも色々聞き取りをし調査を重ねました。その結果、道の駅をすべて私たち事業者がやりますという事業者はありませんでした。ただ道の駅の中の物販や飲食の一部は一緒にやらせてほしいという民間が数件ありました。その民間力をお金に換算すると3.5億円ほどでありました。さらに申し上げますと道の駅ですから、国の事業、国交省の補助金等も活用しながら道の駅が作られることになります。そのため総額の34億円から民間の資金と国の補助金を差し引くと、それが犬山が用意しなければならない、必要となる予算です。その額が幾らになるかということ、21億円とはじき出されました。

ではここから計画どうするのだ、と考えようとした矢先に、皆さんご承知の通りコロナ下になりました。その為、まずは犬山市としては市民の皆さんの健康と命に向き合うために、道の駅計画は一旦立ち止まるという判断をしました。そこでコロナと向き合い3年、4年が経過をし、そして市長選挙を終え、私の任期1年目の中でこの道の駅計画というものは犬山の将来のまちづくりに欠かすことのできない重要案件でありますので、令和5年度中にその方向性を示させていただくということを皆さんに申し上げてきました。その判断をするにあたって、コロナ明けで日本の社会情勢が大きく変わってきています。変化しています。動いています。その為さらに検証をしました。事業者からも詳しくアンケートを取りながらサウンディング調査を実施しました。その結果、前回の総額が34億円でしたが42億円になりました。やはり物価高です。建設費で大阪万博も苦勞しているなんていう報道がなされている通り、建設費は高騰している。そうした時代背景がその42億円という数字に反映されているのだと思います。そして一緒にやらせてほしいということをお願いいただいた事業者も、残念ながらすべての事業者が物価高であるということと、人手不足というこの2つの大きな問題があるが故に申し訳ないけれど道の駅と一緒にやれると申し上げてきたができないという判断になりました。そうすると、残るは国のお金、補助を頼りに道の駅構想を進めていくことになります。その額は42億円から差し引きすると31億円という数字が示されました。5年前の調査よりもさらに10億円多く犬山市として予算を確保しなければならないという結果です。民間事業者のサウンディング調査の中に、今まで聞き取りをしてなかった1つの項目を加えました。その項目が何かと言うと、先ほど申し上げたように道の駅は調整区域のままやっぺいこうという計画で進めるまちづくりでありましたので、道の駅を拠点に面的整備が可能かどうか、まちづくりのプロの皆さんからの見解、意見を聞くこととしました。すると、全ての事業者が同じ答えを示すことになりました。その答えは一部の賑わいは可能だけでも、面的な整備は難しいと考えるという答えでありました。31億円という犬山市の独自の予算を確保しなければならないということ、そしてこれからの新しいまちづくりを進めるにあたってどんなまちづくりが犬山に必要なのかを考え、私の判断は白紙とさせていただきました。犬山市はまだまだやらなければならないことたくさんあるからです。子供たちのこと、やらなければならないこと、山積み

です。今、犬山南小学校の南校舎の改築に入ります。橋爪五郎丸の新しいこども未来園が今年度から色々着手することになります。その後もそれぞれの小学校、中学校、子ども未来園に手を入れていかなければなりません。さらに皆さんご承知の通り、フロイデの壁が落ちてしまいました。これから大規模改修をしていかなければならない。さらに言うのであれば、皆さんの芸術、文化の拠点となり、拠り所である南部公民館や犬山市民文化会館など、これからの維持管理のあり方にも向き合っていかなければならないことがたくさんあります。

ですから、私が判断をさせていただいた大きな理由は、道の駅という観光客、来る人を目的にしたまちづくりではなく、犬山の皆さんが必要とするもの、求めるもの、さらには市民皆さんの安心、安全を最優先にしたいとの思いで、道の駅計画については白紙とさせていただきました。どうかその点をご理解をいただきたいと思います。

色々な思い、考えはあると思います。ただ、新しいまちづくりを止めるわけではありません。考えていきます。進めていきたいという風に思っています。冒頭申し上げました国道41号の6車線化がこれからの新しい犬山づくりに繋がっていく大きなチャンスだと思っているからです。そのためこれからの新しいまちづくりのあり方は、調整区域という道の駅を拠点に考えるのではなく、面的な整備ができる町のあり方を考えていきたいという風に思っています。市街化区域に編入をする新しいまちづくりで考えていく。そしてそのまちづくりは、今ある犬山の課題に向き合って、今ある犬山の課題が少しでも解決に繋がっていく、そんな新しいまちづくりを考えていきたいと思っています。犬山中央病院東側の10ヘクタール程の広さですが、そこにしっかりとゾーニングを考えていきたいと思っています。市民の皆さんが買い物で集っていただける場所、賑やかに楽しんでいただく場所をしっかりとゾーニングをしていくということ。

そして人口減少です。子供の数、うんと減っています。7万5000から7万2000人を切るに至りました。赤ちゃんが年間どれくらい誕生すると思いますか。今年の成人式を迎えた方は750人程でした。昨年生まれた赤ちゃんの数は360人です。半減です。それだけ今の日本社会に反映されたように、我が犬山市も少子高齢化に向き合っていかなければならない。大きな大きな課題がある。働き世代、子育て世代が少ないというのが犬山の現状です。これに向き合っていかなければなりません。だからそのエリアに住んでもらう、犬山に来てもらう。住宅ゾーンのあり方、安心して遊べる公園のあり方など、今犬山にないものをまちづくりの中に作り上げることによって、来る町犬山へ転換をしていきたい。そんな思いであります。来る町犬山から住む町犬山に転換していきたい、そんな思いで新しいまちづくりを考えていきたいと思っています。ですから、決してこの新しいまちづくりを止めるのではなく、さらに新しい犬山を違う角度で作ることによって新たな財源を確保し、市民の皆さんに新しい行政サービスができるようなあり方をお示ししていきたいと思っています。

ただ、道の駅も同じであります。地権者の皆さん、地域の皆さんと向き合っていかなければなりません。丁寧に説明をしていかなければなりません。ゆっくりのんびり考えるつもりはありません。強い意を持って進めていきたいと思っています。だから五郎丸の皆さんにも白紙についての思い、考えをお示しさせていただきました。これからのまちづくりをしていきたいという思いもお伝えをさせていただいています。さらにその検討に向けて、地元の皆さまと新しい犬山づくりに向けて考えていく、進んでいきたいと思っています。

その中で可能性調査もしていかなければなりません。本当にこの国道41号の沿線の新しいまちづくりが可能かどうか。これを我々はしっかり受け止めなければなりません。ですから、犬山商工会議所の皆さんにご指導いただきながらアンケート調査を実施させていただきました。アンケート調査が届いた方もお見えになると思います。お答えいただいた方もお見えになります。心から感謝申し上げます。皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。新しい犬山づくりを前に進めていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

そして国道41号の6車線化は何もこの犬山地区だけのお話ではなく、楽田・羽黒の新しいまちづくりにも繋げていかなければならないと思っています。6車線化を大いに生かしていきたいと思っています。楽田・羽黒の弱点は何かと言ったら、間違いなく南北軸が弱いこと、南北の道がないということです。歩道がついている道はほとんどありません。だから東西軸を強くすることによってこれからの楽田・羽黒の新しい町づくりを41号の6車線化とともに考えていきたいと思っていますし、その点についても動き出しています。計画にはなかったものを昨年から調査費をつけました。今年度は1億2000万の予算をつけて本格的に進めていきたいと思っています。その場所がどこかということ、蟬屋長塚線といって、桑原木材と名古屋銀行のあるどん突き道です。どん突きの道を名鉄の高架を作って長塚・楽田まで繋げていくという計画です。そのエリアも将来構想として、住宅エリアを設置していく予定地にもなっています。なぜその道を考えているのかと申し上げると、41号に直接繋がる道だからです。さらにどん突きである今止まっている流れに新しい流れを生み出したいからです。もっと言うのであれば先程申し上げたように、羽黒だけではなく、楽田に繋がる道、まちづくりができるからこそ、その蟬屋長塚線によって犬山の南側の新しいまちづくりを考えていきたい。地域の発展に繋げていきたいという想いで進めていきたいと思っています。41号についての新しいまちづくりについては以上であります。

もう1つ、城下町観光についても少し触れたいと思います。本当に多くの方にお出掛けいただけになりました。昨年の登閣者数は過去3番目に多い、58万人以上に犬山城にお越しいただいた。その数字を分析すると10月、11月、12月は過去最高でありました。ということは、このままの流れでいくと今年は犬山城の登閣者は過去最高になるかもしれません。その中でこれからの観光、持続可能な観光、まちづくりの在り方を考えていかなければならないと思っています。だ

